

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立朝霧台小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校6年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	34.0	40.0	23.0	3.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	78.0	18.0	3.0	0.0	1.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	48.0	46.0	7.0	0.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	25.0	60.0	13.0	2.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	27.0	60.0	10.0	3.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	89.0	11.0	0.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	60.0	38.0	1.0	1.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	41.0	39.0	13.0	7.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	58.2	29.3	10.0	1.6	0.8
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	52.7	31.6	11.7	3.7	0.4
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	63.7	21.1	12.1	2.3	0.8

②指導改善の具体策

【英語科】

英語でのやり取りにおいて、あと一步の自信や、積極性が足りない現状が見られる。完璧な文法でなくても、ジェスチャーや相槌などを使って、「伝え合えたこと」を価値付ける(褒める)ことで、「どちらかと言えばそう思う」層の児童にも、「自分でできる」という自信を持たせる。

【デジタル科】

生活の中でICT機器を、自立的に活用することにまだ自信を持ってない児童が、やや多い現状がある。児童が「学校の授業以外でも、ICTは自分の生活を便利に、豊かにするものだ」と実感できるよう、家庭生活や委員会活動、クラブ活動などでの自発的に活用できる場を、意識的に用意する。

③学校関係者評価

「英語の勉強が好きだ」という肯定的評価の割合の低さが懸念される。学力向上のためには学習意欲の向上が不可欠である。指導改善の具体策にもある通り、完璧な「正しさ」よりも「コミュニケーション力」の育成を重視すべきだ。ジェスチャーや相槌を交えながらも、「相手に伝わった」「理解できた」という小さな成功体験を積み重ね、自信を持たせることが重要である。また、朝霧台小学校の6年生が21世紀美術館で行っている「(外国人含む)観光客への金沢紹介」のような課外学習に関しては、「好奇心」が「恥ずかしさ」を上回る低学年のうちからこうした活動を取り入れることで、より効果的にコミュニケーション力が育成されるのではないかと期待される。